

訓子府町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況(全体像)

区分	③過年度 (令和元年度～)	②当該年度 (令和6年度)	計	令和6年度末時点 活用率(A/B)	未執行額の活用方針
A:活用額(円)	3,648,345	1,699,000	5,347,345	21.16%	訓子府町森林環境保全整備事業の推進のため、次年度以降に実施する譲与税を活用した事業(新規事業)に充当するために積立する。
B:譲与額(円)	18,602,000	6,666,000	25,268,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	間伐等	1,745,992	1,669,000	私有林における間伐の森林整備実施者への補助や木材生産のため「特に効率的な施業が可能な森林」で公共森林整備事業により保育間伐を実施した森林の所有者への補助等。
人材育成	担い手確保	30,000	30,000	北の森づくり専門学院の生徒を支援する北海道林業・木材産業人材育成支援協議会の賛助金。
木材利用	木造公共建築物の整備等	0	0	実績なし
合計		1,775,992	1,699,000	
基金積立		6,688,000	6,666,000	訓子府町森林環境譲与税基金積立 (年度末積立額計:19,925千円)

■今後の実施計画

<p>①森林整備の推進</p> <p>一部の整備が行き届かない森林の所有者に対して、町や意欲と能力のある林業経営者などに森林の経営・管理を委ねるよう働きかけるとともに、経営計画を作成している森林については、森林環境譲与税を活用して森林の整備を一層推進し、地球温暖化や山地災害の防止に貢献する森林整備を推進する。</p>	<p>③木材利用の推進</p> <p>町内のカラマツなどの人工林資源は利用期を迎える中、町内には製材工場がなく、伐採木の多くは輸送用資材の原料として近隣の市町村へ出荷されています。このため、町内産人工林材の付加価値向上を図るため、町内の公共施設や民間施設の木造化・木質化を進めるとともに、林地未利用材の効率的な集荷を進め、木質バイオマスの利用を促進します。</p>
<p>②人材育成・担い手確保</p> <p>町内に事業者はないが、就業者の高齢化が進むとともに、新規就業者の確保が難しい状況にあるため、地域の関係者と連携を図りながら、他市町村の事業者への新規就業者の確保や通年雇用化の促進、就業環境の改善など、林業就業者の安定確保に向けた取組を進めます。</p>	<p>④普及啓発</p> <p>土砂災害の防止など森林の果たす役割や森林整備の必要性などについて、町内の住民はもとより都市住民の理解の促進を図るため、町有林を活用した森林環境教育や植樹活動のほか、都市住民と交流する木育活動などを進めます。</p>

森林環境譲与税の具体的な活用状況について

事業区分	事業名	事業総額(円)				事業内容	実 績	税導入の効果
		(A)+(B)+(C)	(A)森林環境譲与税	(B)うち基金取崩額	(C)他の財源			
① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林所有者情報保守・データ更新業務	159,500	0	159,500	0	森林GISの保守・データ更新	データ更新一式	【ワンフリーズ】 令和7年度実施予定の森林経営管理制度に係る意向調査の調査対象森林の精査を行うための基礎資料の更新が行えた。 【詳細】 森林GISの地番データ等更新。
	森林クラウドLGWAN-ASP利用料	81,840	0	5,500	76,340	林地台帳の更新	森林所有者情報更新一式	【ワンフリーズ】 令和7年度実施予定の森林経営管理制度に係る意向調査の調査対象森林の精査を行うための基礎資料の更新が行えた。 【詳細】 林地台帳(森林所有者情報等)を運用している森林クラウドの接続利用料。
③ 私有林整備	森林環境保全整備事業補助金	537,358	0	537,000	358	私有林における間伐の森林整備実施者への補助	補助対象者:1名 補助対象件数:1件 補助対象面積:1.68ha 補助金額:537,358円	【ワンフリーズ】 私有林における間伐の森林整備実施者への補助を行うことによって、森林施業の低コスト化を図りつつ森林整備を計画的に推進し、森林の有する多面的機能の維持・増進を図ることができた。 【詳細】 私有林における間伐の森林整備実施者への補助(率:68%)
③ 私有林整備	民有林管理推進事業補助金	967,294	0	967,000	294	木材生産のため「特に効率的な施業が可能な森林」で公共森林整備事業により保育間伐を実施した森林の所有者への補助	補助対象者:8名 補助対象件数:15件 補助対象面積:29.69ha 補助金額:967,294円	【ワンフリーズ】 訓子府町内の森林の適正管理を推進するため、若齢人工林(30年生未満)で行う初回の保育間伐の費用負担を大幅に軽減し、木材生産林の価値を高めることで、森林所有者の森林管理意欲を向上させることができた。 【詳細】 木材生産のため「特に効率的な施業が可能な森林」で公共森林整備事業により保育間伐を実施した森林の所有者への補助。 ※補助率は、北海道の定める標準経費の26%を上限
⑧ 担い手確保	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金	30,000	0	30,000	0	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への負担金	1校 R6 入学者 31名	【ワンフリーズ】 北海道林業・木材産業人材育成支援協議会を通じて、道内各地で行われるインターンシップに参加する北の森づくり専門学院の生徒に給付金を支給する等の支援ができた。 【詳細】 北海道林業・木材産業人材育成支援協議会の構成員となり北の森づくり専門学院の生徒を支援することで林業担い手育成・確保を推進。
⑰基金積立 (森林整備等)	訓子府町森林環境譲与税基金積立	6,688,000	6,666,000		22,000	令和7年度の森林環境譲与税を活用した事業(訓子府町森林環境保全整備事業補助金及び新規事業)に充当するための積立	基金積立額:6,666,000円 (利息:22,000円)	【ワンフリーズ】 令和6年度の譲与税は、令和7年度に実施する譲与税を活用した事業(新規事業)に充当するために積立する。 【詳細】 訓子府町森林環境保全整備事業の推進。 (R6年度末時点の基金積立総額:19,925千円)